

平成29年度第8回地方独立行政法人京都市立病院機構理事会 議事録（要旨）

- 日 時： 平成29年12月26日（火） 午前10時30分から12時00分まで
- 場 所： 市立病院5階会議室
- 出席者： 理事長 森本 泰介
理 事 森 一樹, 黒田 啓史, 桑原 安江, 大森 憲, 位高 光司, 山本 壯太,
能見 伸八郎, 木村 晴恵
監 事 長谷川 佐喜男, 中島 俊則
事務局 長谷川担当部長, 榎木担当副部長, 高橋経営企画課長, 石田総務担当課長,
澤井管理PFI担当課長, 北川事務長

1 開会

2 報告等

(1) 経営状況月次（11月）報告

資料1に基づき、長谷川担当部長から説明

- 増加している外来患者数を地域の医療機関に返していく、とのことだが、どのようにするのか。
→ 診療科によって対応は異なるが、初診について、地域の医療機関からの紹介に絞るなどの手法がある。外来枠の縮小については、特に手術等に影響のある整形外科から始めたい。
- 地域の医療機関に患者さんを返す際には、患者さんの不安等を招かないように気をつけてもらいたい。
- 逆紹介はどのように行われているのか。
→ 地域のかかりつけ医である医療機関には、当院の「登録医」として登録いただいております。登録医を中心に逆紹介している。方法は大きく2種類あり、専門的な治療で紹介先が限られている病気については、診療科から医療機関を紹介し、内科系などで比較的紹介先が多い病気については、患者さんの希望等を伺いながら地域医療連携室で調整をしている。
→ 平成20年当時に44件だった「登録医」は、地域の医療機関との信頼関係を深めることで、現在510件まで増えている。今後も地域との連携を強め、逆紹介を推進してまいりたい。
- 後方連携について、他病院と比較するとどうか。
→ 周囲の同規模病院と比較すると、平均在院日数で0.5日から1日程度当院では長くなっている。また、民間病院は、グループ内に回復期病院や介護施設等を抱えているところが多く、そういうところは連携しやすい。
- 働き方改革についてはどう考えているか。
→ 医師事務作業補助者の導入などにより医療職の負担軽減を進めてきたが、当院に求められる高度な急性期医療の提供を果たすため、更なる負担軽減の方策など、国の議論も注視しつつ、勤務体制や人員バランス等も考慮して取り組みたい。
- 医師においては、当直などで自分の専門外の医療に関する長時間勤務は心理的にも負担になる。救急・当直などはその面で負担は大きい。
- 労災の観点からも、労働時間の長短だけでなく、環境が与えるストレスも影響しているとの研究がなされている。
- 一度病院の中で行われている仕組や慣習等を洗い出し、重複業務などを整理されてはどうか。どんな組織でも見直しを行って3年もたつと、廃れるものである。整理することによって、無駄を減らし、労働者の働き方改革に努めてもらいたい。
→ 委員会・会議の持ち方の改善には取り組んでおり、ペーパーレスや会議時間の短縮を図ってい

る。これからも進めていきたいと考えている。

- 診療に関しては、病気ごとに、治療や検査、看護ケアなどの内容・スケジュールを一覧表にしたクリニカルパスを作成しており、効率的、標準的な治療を実施している。当院では約半数がクリニカルパスの対象となっているが、適用を増やすとともに、無駄がないか見直しを進めていきたい。
- 会議のための会議を行うなど会議が多くなりすぎていないか、過剰に資料を作成していないか、などの視点でも点検していただきたい。

(2) 月次収支（10月まで）報告

資料2に基づき、長谷川担当部長から説明。

(3) 磁器共鳴画像診断装置（MRI）の更新について

資料3に基づき、長谷川担当部長から説明

- MRIの更新は、既存のものとは別スペースに設置するのか。
 - 既存の装置の入れ替えになるため、工事等により1～3月は1台稼働となるが、使用時間の延長や休日の検査実施により、検査件数の大幅な減少とならないよう工夫していく。
- 導入による診療上の効果は。
 - より精密な画像診断が可能になるほか、撮影時間の短縮化や静音技術による患者さんの負担減に加え、診療報酬単価も2,700円増加する。

(4) 京都市立病院機構職員給与規程の改正について

資料4に基づき、長谷川担当部長から説明

(5) 平成30年診療報酬改定等について

資料5に基づき、長谷川担当部長から説明

- 多死社会を迎えるにあたり、病院としてどう死と向き合っていくのか。
 - 当院はがん治療に力を入れており、緩和ケア病床を備えている。患者さんの希望があれば、ホスピスを紹介する場合もあるし、自宅へ帰りたいという希望があれば、地域の訪問医・訪問看護ステーションを紹介し、できる限り患者さんの希望に添えるようにしている。

3 閉会